

新型コロナワクチンの職域接種について（Q&A）

新型コロナワクチンの「職域接種」とは、現在、自治体が行っているワクチン接種とは別に、企業や大学等の職域単位でワクチンの接種を行うものです。水産大学校（以下「本校」）の学生に対する情報提供のため、以下に、新型コロナワクチンに関する一般的な情報（ア.）に加えて、本校における職域接種の検討状況（イ.）を記しました。

なお、ア. については、分かりやすさを優先して記したものであり、厳密な内容については厚生労働省ウェブサイト等の政府機関や自治体の情報を参照して下さい。また、イ. については、現時点のものであり、随時更新します。学生の皆さんにおかれましては、引き続き所要の新型コロナ対策を徹底して下さい。

参考：厚生労働省ウェブサイト

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

Q & A 質問リスト

ア. 新型コロナワクチンに関する一般的な情報

Q ア-1：そもそもワクチン接種は、何のためにするの？

Q ア-2：どんなワクチンを接種するの？効果は？

Q ア-3：ワクチン接種していつから効くの？

Q ア-4：誰でもワクチン接種ができるの？

Q ア-5：ワクチンの副反応は？

Q ア-6：アナフィラキシー症状とは？

Q ア-7：ワクチン接種を受けた後の生活上注意点は？

イ. 本校での職域接種について（7月7日現在：随時更新します）

Q イ-1：水産大学校において職域接種を行うことを決定したのですか？

Q イ-2：実施する場合、どこで行われるのですか？

Q イ-3：実施する場合、いつごろになりますか？見込みでも良いので教えて下さい。

- Q イ-4 : 本校での職域接種は本年中に何度も行われるのですか？
- Q イ-5 : 接種の日時を自分で選択できますか？
- Q イ-6 : 実施の連絡は学生宛にメールされるのですか。ウェブサイトで公表しないのですか？
- Q イ-7 : 学生は全員接種を受けないといけないのですか。受けない場合のペナルティはありますか？
- Q イ-8 : 学生の家族は接種を受けられますか？
- Q イ-9 : 6月18日(金)付の学生宛での調査に回答したら接種予約が確定するのですか。回答しな
- Q イ-10 : 接種を受けるにあたって保護者の同意は必要ですか？
- Q イ-11 : 接種を受ける際には何の書類が必要ですか？
- Q イ-12 : 自治体から接種券(クーポン)が届いていなくても接種を受けられますか？
- Q イ-13 : 下関市に住民登録していなくても接種を受けられますか？
- Q イ-14 : 接種を受ける際に費用負担は必要ですか？
- Q イ-15 : 本校の職域接種を受けずに、自治体の実施するワクチン接種を受けても良いですか？
- Q イ-16 : 1回目の接種を大学校で、2回目の接種を大学校以外の会場で受けられますか？
- Q イ-17 : 申し込みした上で直前にキャンセルしても良いですか？
- Q イ-18 : 自治体等のワクチン接種を受けるため、授業等を欠席しても良いですか？
- Q イ-19 : 副反応があった場合、授業等を欠席しても良いですか？
- Q イ-20 : 自治体のワクチン接種が期末試験と重なるのですが？
- Q イ-20 : 乗船実習がありますが大学校での職域接種を2回とも受けられますか。

Q & A 本体

ア. 新型コロナワクチンに関する一般的な情報

Q ア-1 : そもそもワクチン接種は、何のためにするの？

感染症に対する免疫をつけたり、免疫を強めるために接種され、個人の発症や重症化を予防するだけでなく社会全体で感染症が流行するのを防ぐことが期待されます。よって、ワクチン被接種者だけではなく、ワクチン接種を受けることができない人も守ることにつながります。厚生労働省は、新型コロナワクチンについて、ワクチンによる発症予防効果などのメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して接種を勧めています。ただし、接種は強制ではなく、あくまで本人の意思に基づいて接種を受けていただくものです。

Q ア-2 : どんなワクチンを接種するの？効果は？

職域接種では、武田／モデルナ社の新型コロナワクチン（以下「モデルナのワクチン」）の使用が予定されています。その有効性は、発症予防効果約 94 %と報告されています。

Q ア-3 : ワクチン接種していつから効くの？

モデルナのワクチンでは、1 回目を接種した後に 4 週間あけて 2 回目を接種します。十分な免疫が確認されるのは、2 回目接種を受けてから 2 週間以降になります。ワクチン接種をしても感染予防対策は今までと同様に継続してください。

Q ア-4 : 誰でもワクチン接種ができるの？

現時点では、18 歳以上の方がモデルナのワクチン接種を受けられます。ただし、接種当日に発熱がある人、重い急性疾患がある人、1 回目のワクチン後にアナフィラキシー（下記の「アナフィラキシー症状とは？」を参照）を起こした人、予防接種を受けることが不適切な状態と医師が判断した人は、接種を受けられません。

Q ア-5 : ワクチンの副反応は？

ワクチン接種を受けた後、副反応と呼ばれる症状が起きることがあります。まれな頻度でアナフィラキシー（下記Qア-6の「アナフィラキシー症状とは？」を参照）が発生することがあるほか、接種を受けた 1～2 日後に接種部位の痛み腫れ（まれに接種後 7 日以降に接種部の腫れ痛み）、疲労感、頭痛、筋肉痛、発熱、吐き気など出現する事が多いですが、3 日以内に回復します。3 日以上経っても症状が続いたり、症状が重くなったら、医療機関に相談して下さい。

相談窓口：新型コロナワクチン専門相談センター（24 時間） ☎083-902-2277

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cmsdata/2/e/7/2e7fa82898b4a23b6bf56cfb63483146.pdf>

Q ア-6 : アナフィラキシー症状とは？

簡単に言うと、「重いアレルギー症状」です。ワクチンの接種を受けた後に、15 分～30 分で以下の 2 つ以上の症状が現れる場合をアナフィラキシーと言います。このため、接種後 15 分以上は症状を観察する必要がありますので、接種会場で待機していただきます。なお、アナフィラキシーについて厚生労働省は、これまでにおよそ 1 万 2000 回に 1 件の割合で発生する報告があることを明らかにしています。また、厚生

労働省の専門家部会は「安全性に重大な懸念は認められない」としています。

症状：○皮膚、粘膜症状（発疹・発赤・かゆみ）○消化器症状（腹痛・嘔吐）○循環器症状（血圧低下・意識障害）○呼吸器症状（呼吸苦・ゼイゼイ呼吸）

Q ア-7：ワクチン接種を受けた後の生活上注意点は？

接種当日から入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。通常の日常生活は送れますが、過度な飲酒や激しい運動は控えてください。

イ. 本校での職域接種について（7月7日現在：随時更新します）

（現時点の状況と概要）

Q イ-1：水産大学校において職域接種を行うことを決定したのですか？

(1) 本校は、新型コロナワクチンの職域接種（校内での学生・教職員に対するワクチン接種）を計画し、政府に申請し、現在、政府による申請内容の精査・確認、および政府からの具体的なワクチン配送予定日・予定数量の連絡を待っている状態です。

Q イ-2：実施する場合、どこで行われるのですか？

(1) 下関市永田本町の本校キャンパス内での実施を考えています。

Q イ-3：実施する場合、いつごろになりますか？見込みでも良いので教えてください。

(1) 政府発表によると、「現在申請していただいている職域接種分のモデルナ社のワクチンは十分な量を確保していますが、現時点で確認済みになっていない会場については、順次確認を行った上で、基本的に8月9日の週以降に、接種を開始いただけるものと考えている」との状況です。

(2) 本校において、1回目の接種をいつ行えるかは、政府による精査・確認作業の進捗に左右されるので、現時点で確定していませんが、上記(1)の政府発表を考慮し、8月下旬から9月上旬の実施を想定し、準備を進めているところです。

(3) いずれにしても、具体的な接種の日時については、政府からのワクチン配送予定日・予定数量の連絡を受けてから決定することになります。接種の実施日が決まり次第、速やかに学生

に連絡します。

(4) なお、2回目の接種は、1回目の接種日の4週間後に行います。

Q イ-4：本校での職域接種は本年中に何度も行われるのですか？

(1) 職域接種は1000人以上がまとまって、一定の期間内に行うものであり、何度も行うことは出来ません。本校で職域接種を行う場合には、上記Qイ-3の(2)及び(4)のように特定のタイミングで2回セット（1回目の接種の4週間後に2回目を行う）ですべての接種希望者をカバーすることになります。

(2) ワクチン接種を希望する学生で、本校での職域接種を受けなかった学生は、自治体が設ける接種会場等で接種を受けることになります。その際の手続は各自治体等の指示に従って下さい。

Q イ-5：接種の日時を自分で選択できますか？

(1) 接種は1回目、2回目とも複数日を確保すべく関係者と調整中ですが、学生が自身の都合により接種の日付や時間帯を選択できるかについては、現時点では確定していません。

(2) 速やかで円滑な接種のため、予約時に本校側で接種の日付や時間帯を指定することがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

Q イ-6：実施の連絡は学生宛にメールされるのですか。ウェブサイトで公表しないのですか？

(1) 接種の管理を行う都合上、個々の学生にメールで連絡し、学校の電子システムを通じて登録してもらいますが、実施日等をご家族等が知ることのできるよう、本校ウェブサイトでの情報提供を検討します。

Q イ-7：学生は全員接種を受けないといけないのですか。受けない場合のペナルティはありますか？

(1) 接種は強制ではありません。自治体での接種、職域での接種いずれにしても、接種を受ける、受けないは自分の意志で決めて下さい。

(2) 接種を受けないことによって、本校が学生にペナルティを課すことはありません。ただし、乗船実習を含めたカリキュラム実施等のため、必要に応じ学生に対してワクチン接種歴を確認したり、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた感染防止対策を求めることがあります。

(3) 日本政府は、ワクチンによる発症予防効果などのメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して国民に接種を勧めています。新型コロナウイルス感染症について、学生などの若年者は問題無いかのような情報が SNS 等で流れていますが、若年者でも重症化する場合があること、感染・発症後に様々な後遺症が報告されていること、また、無症状であっても感染し他者に移してしまうことがあること、等に鑑み、本校においてもワクチン接種は授業等の正常化のために重要と考えています。このため、クラブ活動や学園祭・オープンキャンパスなど、学内で行う活動や催しについては、学生・教職員のワクチンの接種状況を勘案して実施の是非を決定することになります。

Q イ-8：学生の家族は接種を受けられますか？

(1) 被接種者名簿や予診票の管理などの都合上、学生のご家族は職域接種の対象者に含めておりません。

(申込方法等)

Q イ-9：6月18日（金）付の学生宛ての調査に回答したら接種予約が確定するのですか。回答しなかったら接種は受けられないのですか？

- (1) 6月18日付の事務連絡は、本校での職域接種を検討するため、ワクチン接種を希望する学生がどれだけいるか、また、希望するタイミングはいつかを調査するためのものであり、その回答で接種の予約が確定するものではありません。
- (2) 接種の実施が決定された場合、あらためて、全ての学生に対して、接種の希望を確認するための連絡をあらためてメールで行います。

Q イ-10：接種を受けるにあたって保護者の同意は必要ですか？

- (1) 今回の18歳以上の者に対する新型コロナワクチン接種においては、保護者の同意は必須ではありませんので、本校が保護者の同意書の提出を求めることはありません。上述のとおり、接種にあたり必要な連絡は学生に対して行います。
- (2) ただし、①接種券が自治体から自宅（保護者の住所）に送付される場合があり、本校で接種を受けた学生は本校に接種券を提出する必要があること、②保護者は学生の体質や病歴を承知していること、等に鑑み、本校で職域接種を受けることを学生から保護者に事前に話しておくことが望ましいと考えます。

Q イ-11：接種を受ける際には何の書類が必要ですか？

(1) 接種時に必要な書類等については、後の段階で接種希望者に対して具体的に指示します。

Q イ-12：自治体から接種券（クーポン）が届いていなくても接種を受けられますか？

(1) 職域接種の場合、接種券が届いていなくても接種を受けられます。接種を受けた後に接種券が届いたら学生部に提出して下さい（詳細は後で指示します）。

Q イ-13：下関市に住民登録していなくても接種を受けられますか？

(1) 職域接種を受けられます。下関市に住民登録していない（下関市に住民票が無い）場合には、現在住民登録している自治体から住民登録している住所宛に接種券（クーポン）が届きますので、当日持参するか、後日学生部に提出して下さい（詳細は後で指示します）。

(2) なお、自治体が発行するワクチン接種券は、自治体が行う接種、本校での職域接種いずれの場合でも必要となりますので、どの自治体から、どこにワクチン接種券が送られるかを各自確認しておいて下さい。

Q イ-14：接種を受ける際に費用負担は必要ですか？

(1) 被接種者の費用負担はありません。

Q イ-15：本校の職域接種を受けずに、自治体を実施するワクチン接種を受けても良いですか？

(1) 自治体のワクチン接種を受けてもかまいません。その場合は、自治体の指示に従って下さい。
(2) その場合、本校に事前に届け出る必要はありませんが、後で本校からワクチン接種歴の有無を確認することがあります。

Q イ-16：1回目の接種を大学校で、2回目の接種を大学校以外の会場で受けられますか？

(1) 職域接種においては2回とも同じ職域接種会場で接種することが求められています。本校で1回目の接種を受けた場合には、2回目についても本校で接種を受けることが必要です。
(2) また、1回目を大学校以外の会場で受け、2回目を大学校で受けることもできません。

Q イ-17：申し込みした上で直前にキャンセルしても良いですか？

- (1) 当日、体調が悪くなり接種会場に行けなくなった場合など、やむを得ない場合には学生部に連絡して下さい（詳細は接種希望者に後で指示します）。
- (2) 自治体のワクチン接種との二重登録は、混乱の元になりますので謹んで下さい。各自治体・職域接種実施者は接種の申し込み状況を踏まえて当日のワクチンや被接種者を管理していますので、円滑な実施にご協力願います。

（授業等との関係について）

Q イ-18：自治体等のワクチン接種を受けるため、授業等を欠席しても良いですか？

- (1) 自治体等のワクチン接種のため、やむを得ず授業を欠席する場合は、クラス担当教員に連絡するとともに、早めに（可能であれば事前に）欠席届（新型コロナウイルス感染症対策にともなう欠席届」を提出して下さい。定期試験の場合も同様です。なお、学校の職域接種は、授業や実習、期末試験等と重ならないように調整中です。

Q イ-19：副反応があった場合、授業等を欠席しても良いですか？

- (1) やむを得ず授業や定期試験を欠席する場合は、クラス担当教員に連絡するとともに、出来るだけ早めに欠席届（新型コロナウイルス感染症対策にともなう欠席届）を提出して下さい。

Q イ-20：乗船実習がありますが大学校での職域接種を2回とも受けられますか。

- (1) 乗船実習に参加しても2回の職域接種が受けられるよう、関係者と調整中です。

（以上）